

防災通信 No.26

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

「3.11」から11年そして今年！

2022年3月11日で「東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）」から11年経ちました。

金曜日の14時46分に地震が発生し巨大津波、原発事故、そして私たちの近辺でも計画停電等が記憶に残っているのではないのでしょうか。

そして今年3月16日（水）23時36分頃、福島県沖深さ57kmを震源とするマグニチュード7.4の地震が発生しました。この地震で宮城県登米市や福島県相馬市などで最大 **震度6強**、宮城県石巻市や名取市、岩沼市、福島県福島市、二本松市など広い範囲で震度6弱の強い揺れを観測しました。

震源から少し離れている関東でも震度5弱～震度4の揺れに見舞われ、震度1以上の有感地震を観測した範囲は北海道から山陰や小笠原諸島などの広範囲に及んでいます。



【震度6強の地震の揺れと想定される被害】

〈人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況〉

立っていることができず、はわないと動くことができない。

揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。

固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。

壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。

〈鉄筋コンクリート造建物の状況〉

(耐震性が高い) 壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。

(耐震性が低い) 壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ、亀裂がみられることがある。

1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。

〈地盤・斜面等の状況〉

大きな地割れが生じることがある。

がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

【ライフライン・インフラ等への影響】

〈ガス供給の停止〉

安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では、**震度5弱程度以上**の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。

〈断水、停電の発生〉

震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある。

〈電話等通信の障害〉

地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問い合わせが増加し、電話等がつながりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。そのため対策として、**震度6弱程度以上**の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤル（171番）や災害用伝言版などの提供がおこなわれる。

— 気象庁震度階級関連解説表より



【身の回りの地震対策の再確認】

〈棚〉

ポピュラーな方法ですが、L字型の金具や支え棒を使って天井と固定し、床には免震ゴム（耐震マット）という粘着性のゴムマットを入れましょう。棚を重ねている場合や扉が付いている場合には、揺れでずれたり開いたりしないようにストッパーなどのグッズを使用します。また、本棚の場合、本が落ちてくる可能性があります。

バンドやブックエンドで極力すき間をなくし、揺れても落ちにくいように工夫しましょう。

〈照明〉

天井からチェーンなどでぶら下がっている吊り下げ式の照明であれば、そのチェーンの数ヵ所を止める、蛍光灯であれば両端を耐熱テープで止めておく心安心です。

〈ガラス〉

窓に限らず、棚の扉や額縁などのガラスには飛散防止フィルムを貼ると良いでしょう。就寝時にはちゃんと窓のカーテンを引くようにするのもよい方法です。

各ご家庭でも工夫して対策を整えてはいかがでしょうか。